

芝浦同志聯盟
海員協會橫濱出張所
日本海員組合
社會民衆黨
工友同志會
全國俵給者協會

平野 豊
元廣 昇
山川 宗彬
岡崎 憲
高品 増之助
植村 金作

一、祝電

海員組合下關出張所 海員組合函館支部 海員協會本部
片山哲 山崎今朝彌 海員組合大阪支部 海員組合本部
浦賀工委會 愛知縣聯合會 名古屋海友同志會 海員組
合名古屋支部 關東釀造大間々支部 關西労働同盟會
大阪聯合會 大阪陶業労働組合 海員組合門司支部
原労働組合 小池四郎 社會民衆婦人同盟 全國俵給者
協會 東京瓦斯工組合 東京官業労働組合 海軍聯盟
關彦金屬労働組合 因島労働組合 京都聯合會京畿會議
團三谷會議團 岩手合同労働組合 吉田耕三 爲藤五郎
關東釀造高崎支部 舞鶴共立會 徳山燃工會 九州聯合
會 八幡同志會 社民愛知一宮支部

委員長 河田弘治

一、資格審査委員會報告

東京鐵工 四三 縫 工一〇 出版印刷 五
中央合同 三五 革 工七 水道 四
紡織 三六 運 輸 一一 遞 友 一二

一、議事委員會報告

委員長 大屋 幸男
豫ねて提出中の二十六議案を廢合選擇し十八議案とし別
に二議案を追加し計二十議案を採擇する旨の報告を満場
承認

議事

一、一般報告質問及各專問部に對する一二の質問

ありて後報告 満場一致承認

ブルジョア階級が自己の政治的經濟的權力の保有を固る
前、労働階級の正常なる社會運動に對して司法權の發動
を以て抑壓せんとすることは、正に健全なる社會運動を
阻害し徒らに國家的危機を助長するのみである。本大會
は即時左の惡法案の撤廢を要求するものである。

治安維持法

暴力行為等取締法

治安警察法

盜犯防止法

實行方法

總同盟執行機關は社會民衆黨執行機關と協力して當局訪
問、其他演說會示威運動等に依る社會的輿論の喚起に努

八王子 三 自動車 三 神 鐵 二七
セメント 八 製材 五 東京電氣 七
石 油 一四 製 綱 二九 染 色 六
神 合 一三 埼玉労働 五 群馬交通 一
前橋合同 一 關東釀造 二〇
計 三〇一
理事 五八 執行委員 一七
合計 三七八

一、議長副議長選舉

一、議長挨拶

一、各種報告

一般報告並に日本労働會館建設委員會報告 齋藤 健一
通常會計基本金會計罷業相互金庫會計日本労働會館
計報告 福岡金次郎
政治部報告 原 虎一
調查部教育出版部報告 重廣 虎雄
組織部報告 徳永 正報
爭議部報告 仲濱 藤次
事業部報告 藤原伊之助
午後一時—同二時休憩、再會

二、修養團排撃に關する件(可決)

〔緊急動議〕東洋製綱爭議應援の件(可決)
〔緊要動議〕東洋製綱爭議應援の件(可決)
〔會計審査委員會報告〕 委員長 森本 耕 承認
員會に一任す

三、解退職手當共同管理要求に關する件(可決)

〔會計審査委員會報告〕 委員長 森本 耕 承認
員會に一任す

實行方法

一、解雇手當に關する積立金は資本家と同数の労働者の
代表を加へたる委員會を以て管理する様協議運動を起す
事

四、紡織採短反對闘争に關する件(可決)

二、各組合支部はその實現に努力する事
目的
一、工場法第四條の除外例(保護職工は許可を受け、十
一時迄一時間延長し就業なましむる事を得)の趣旨は
採短と相矛盾するに付き即時取消
一、收入減 解雇反對